

①学生時代において、身につけておくべき能力やスキルがあれば教えてほしいです。

→配属先の部署によって求められるスキルは様々です。例えば、外国人留学生の多い部署では英語力が生きる場面がありますし、財務・会計関連の業務を担当する場合には、簿記の基礎知識が求められます。ただし、本学では入職後の研修で各業務に必要な知識やスキルを学ぶことが可能な体制を整えています。

その中で、どの部署でも共通して求められるスキルを一つ挙げるとすれば、Microsoft Office (Word、Excel、PowerPoint 等)をはじめとした基本的なパソコン操作でしょうか。入職後の研修を通して、具体的な活用方法を学ぶことも可能ですが、学生時代に一度でも触れた経験があると、実際の業務にもよりスムーズに取り組めるのではないかと考えています。

新卒で本学への入職を目指される方には、今は学生時代だからこそ挑戦できることに全力で取り組み、新しい分野の知識を積極的に学び吸収する意欲とエネルギーを蓄えて社会人生活をスタートしていただければと思います。

②中途採用者に求められることは何かありますでしょうか？

→中途採用の方には、これまでに培われた実務経験や多様な専門知識を本学の運営に活かしていただきたいと考えています。

本学には、教育関連業界の経験者に限らず、民間企業や公的機関など様々な業界から転職してきた職員が在籍しています。異なるバックグラウンドや視点を持つ職員が協働することで新たな発想が生まれ、これからの大学運営に必要な力になると考えています。

また、大学は事務職員だけでなく、学生、教員、学外機関や地域の方等、多様な立場の関係者と連携することで成り立っています。その中で、それぞれの立場や考えを理解しながら円滑に調整を行う力や、丁寧で柔軟なコミュニケーション力を発揮していただけることを期待しています。

③業務で車を運転しなければならない場面はありますか？

→入学試験やオープンキャンパスの準備、学外での行事対応等の際に車を使用する場合があります。ただし、その都度、車の運転が可能な職員が対応する体制を取っており、全ての職員に運転技能を必須としているわけではありません。

運転免許をお持ちでない方や、運転に不安のある方でも業務に支障が出ることはありませんのでご安心ください。

④働くうえで大切にしていることを教えていただきたいです。

→大学職員として働くうえで大切にしているのは、学生の学びや教員の研究を支え、その成果を通して社会に貢献する大学の一員であるという意識を常に持つことです。事務職員の業務は、教育や研究活動の最前線に立つものではありませんが、学生や教員が安心して

活動に専念できるような環境を整える大切な役割を担っています。

また、業務を通して学生や教員、学外の方など様々な立場の人と関わる職場であるため、相手の立場を考えた丁寧な対応や公正な姿勢を心がけることも大切だと考えています。

⑤業務などで苦戦したことはありましたか。またどのように乗り越えられましたか。

→回答者個人の経験になりますが、入職直後に担当した授業料免除という経済支援制度の業務において苦戦したことがあります。

大学の制度は規則に基づいて厳格に運用することが求められるため、例えば申請期限を一日でも過ぎてしまった場合は受け付けることができません。一方で申請を希望していた学生は、この制度が無ければ就学の継続が難しい状況にあり、制度上のルールと学生一人ひとりの事情との間に対応に悩む場面がありました。

その際は、同じ部署で奨学金を担当する職員に相談し、他に活用できる制度がないか検討した結果、別の奨学金を受給できることになり、学生の支援につなげることができました。大学職員は人を相手にする業務が多く、想定通りに進まないケースも少なからず発生します。そのような場合は、まず冷静に状況を整理し、関係部署や上司、同僚と連携・相談を重ねながら、最善の対応を探るよう心がけています。

⑥普段お仕事をされている中で、横浜の地域性を感じる瞬間があればお伺いしたいです。

→学生や教職員のバックグラウンドが多様で、本学の理念でもある国際性や先進性、そして開放的な雰囲気日々触れる中で、開港都市横浜の魅力が大学の風土にも表れていると感じます。

また、本学は横浜という日本有数の都市にありながらも、緑豊かなキャンパスを有しており、近隣住民の方が気軽に散策に訪れるなど、地域に開かれた存在でもあると思います。防災や環境、都市デザイン、多文化共生といった横浜が抱える都市的課題に大学として関わる場面も多く、自身の仕事が地域の持続的な発展に貢献していると感じられることがやりがいの一つになっています。

⑦高卒で採用された方はいますか。

→はい、高等学校卒業後に採用された職員も在籍しています。

なお、令和8年度実施の採用試験においては、平成3年4月2日以降に生まれた方が対象となっています。受験資格の詳細については、採用試験事務室ウェブサイトに掲載の試験案内をご確認ください。

⑧独自試験が行われる場合、国立大学法人等職員試験の後に行われるのでしょうか。

→今年度の実施については現時点では未定です。ただし、独自採用試験を実施することとなった場合は、国立大学法人等職員採用試験の終了後に行う予定としております。

令和8年度独自採用試験を実施することとなった場合は、こちらの事務職員採用試験案内ページに情報を掲載いたしますので、随時ご確認くださいませようお願いいたします。